

岩国市中小企業等振興審議会 第9回審議会議事録

日時 令和3年11月12日（金）15:00～16:40

場所 岩国市役所 2階特別会議室

出席者 委員10名（欠席4名）

事務局 産業振興部長、商工振興課長、商工振興副課長、労働政策班長、企業振興班長、企業振興班員1名、中心市街地整備課 中心市街地整備班長、観光振興課長、観光企画班長

その他 2名（山口県中小企業家同友会岩国支部）

1. 令和2年度中小企業等振興施策の取組実績について（資料1）

（事務局より、資料に基づき説明）

**質疑応答**

・創業支援について

（委員）創業支援に関しては、商工会議所では以前からいわくに創業カレッジを実施している。コロナ禍においてはなんとかオンラインという形で開催することができた。この時期に創業を目指す方がおられるのかという不安もあったが、他市にはない補助制度もあり、ある程度の創業に繋がったのではないかと。今年度より市の創業支援補助金の制度が見直され、補助額は下がったが使い勝手は上がっており、実際に使いやすいとの言葉も頂いている。また、昨年度末にオープンしたClassBiz.については、創業支援の部分が商工会議所とバッテリーングするかと思われたが、ClassBiz.が創業機運の醸成を、会議所がその後のテクニカルな部分を、その後の人材やコラボレーションなどをまたClassBiz.で行っていただいているので、今のところ連携できていると思う。ただ、当初に比べ、創業支援がコンパクトになってきている気がする。おひとりでやられる方、副業的な方など、当初の目標であった雇用を生み出す創業が出来ていない状況である。今後はそういった点も含め、ClassBiz.との連携を図り、雇用が発生するような創業形態に持っていきたい。

（会長）コロナ禍で各事業実績は落ち込んでいるが、以前からこの審議会でも取り上げられていたClassBiz.については多くの利用実績があり嬉しく思う。もう一つの新規事業として、中心市街地以外の店舗を支援する店舗魅力向上リニューアル補助金も地域の方に利用してもらえているようでよかった。

（委員）職員をClassBiz.に派遣し相談会を実施しており、実際に融資に繋がったケー

スもある。相談先が増えることは創業者にとっても良いこと。ただ、先ほど委員が言われたとおり、美容業など小さな創業が多い印象。ベンチャー企業などの創業があればいいのだが。

( 委員 ) ベンチャー企業の方が **ClassBiz.** で講演をされることもあり、創業者にとって実際にベンチャーを立ち上げられた方の話を聞く機会はありがたいと思う。ただ、シェアスペースが人気で空きがないこと、都合上仕方ないと思うが、利用時間が短いなどの点は今後改善してもらいたい。創業に関しては、市の創業支援資金の利用件数が伸び悩んでいるため、制度内容の見直しも検討する必要があるかもしれない。当初は利率の低さなどでメリットを感じてもらっていたと思うが、現在ではそこまでメリットを感じる状況でない。使い勝手を良くするための検討が必要。

#### ・市内企業情報発信事業

( 委員 ) 市内企業情報発信事業については、企業の HP 制作費の補助などは対象になるか。学生は企業を調べるときには第一にネットで情報を探すと思う。

( 事務局 ) 市内の若者が大学等で県外へ出て行き、なかなか市内へ帰ってこないという現状がある。市内には様々な頑張っている企業があることを、高校生の段階から知っていただくことを目的として、昨年はじめて冊子を作成。100社を目標として現在92社掲載している。掲載された各社へ対する HP 制作費の補助は設けていないが、今年度は継続事業として掲載内容の更新とともに、ネットでも情報が確認できるように HP の作成も行う。また、市ではこの度コロナ禍において市外で生活されている大学生等を応援する目的でふるさと産品の小包を送る事業をスタートしており、この事業のチラシも同封する。これからも就職先を探している方々に情報が届くように努めたい。

( 会長 ) 情報発信については、動画サイトなども是非活用していただきたい。つまんでちょんまげの PR 動画のように、面白いものをつくってもらいたい。

#### ・Iターン、Uターン等について

( 委員 ) 首都圏等から I ターンで岩国に来られ創業されるケース等があるが、**ClassBiz.** でもそうした方の相談等があるのか。

( 事務局 ) **ClassBiz.** でも I ターン、U ターンについての相談がある。特にコロナ禍において、都市部で仕事をする必要性が薄れてきていることもあり、テレワークで仕事をしたい方にとっては、**ClassBiz.** のような施設があれば地元に戻りやすいという声も頂いている。また、実際に数名は岩国に戻ってこられて **ClassBiz.** を活用するという方もいる。企業についても、テレワークの推進等により、サテライトオフィスの機運が高まっている。**ClassBiz.** でトライアル的に環境を

整え、確認したうえで本格的に進出を行うというケースも発生している。令和3年度において、サテライトオフィスの協定を3社締結しており、そのうち1社はClassBiz.に入られ本格進出の準備をされている。もう1社は、本市ではじめて中山間地域の玖珂地区にサテライトオフィスを設置する準備を進めておられる。今後も働き場所を地方へ移すということが加速していくだろうと思われる。

( 委 員 ) 玖珂地域のサテライトオフィスはいつ設置されるのか。

( 事 務 局 ) 今から工事に入り、今年度中に完成する予定である。

・特産品岩国ブランド等情報発信拠点・アンテナショップ設置事業について

( 会 長 ) アンテナショップ設置事業については、新型コロナの影響や、インターネットでの販売が開始されたことが理由で令和2年11月に終了となったのか。

( 事 務 局 ) 東京浅草の施設をお借りして、市のアンテナショップとして販売をしていたが、施設側の事情があり、令和2年11月末で終了となった。使用料が安価であったこともあり、これに代わる施設をなかなか見つけることが出来ない状況である。

## 2. 岩国市中小企業、小規模企業及び小企業振興基本計画の改定について（資料2）

(事務局より、資料に基づき説明)

(事務局より補足説明)

・計画のスケジュールについて

本日説明する改定(案)について委員から意見を徴収し、これら意見に対する必要な検討を行った後、意見に対する考え方や修正案を本年度中にお示しする。その後、来年1月からパブリックコメントを実施し、3月に完成するというスケジュールで進めたい。

・新型コロナウイルス感染症対策について

中小企業者への新型コロナウイルス感染症の影響は甚大であり、本来ならこの基本計画にも考慮すべき要素である。しかし、今後の収束状況、経済への影響が現時点で明確に見通せないため、今回の基本計画改定では、新型コロナウイルス感染症による影響は反映させていない。このため、基本計画を補完するものとして、別冊の参考資料(資料3)においてこれまでの実績と基本的な考え方を取りまとめさせていただいた。

### 質疑応答

・修正特化係数について

( 委 員 ) 経営においては強い産業に力を入れていくのがセオリーであると思うが、こ

の修正特化係数で出てきた強い分野に対し、中小企業のサプライチェーン部分で強化していく施策を行う計画はあるか。

(事務局) 岩国の産業の特色を掴む目的で、修正特化係数を用いらせて頂いた。市にはコンビナート地帯があり、繊維工業やパルプ製造業が主要産業であるが、それに伴い、中小企業においても関連する事業所が多くあると認識している。強い産業を育てることはもちろん、それに関連する中小企業を支援できる施策を考えていきたい。

(委員) 先ほど、最近は小さい創業が多い状況という話があったが、産業集積を進めるのであれば、強い産業に産業集積ができるような形の創業者について、加重平均を用いた重みづけをするのも良いのではないか。やまぐち産業振興財団の創業補助金においては、デジタルやバイオ分野に対し、加点や補助額の加算などをされていたと思う。

(事務局) 創業に対しては業種を問わず支援をしているが、IT分野や大手産業に関連する新たなビジネス等の創業も考えられるので、頂いたご意見を踏まえて施策を検討していきたい。

(委員) 企業の技術開発担当者の方が、コロナ禍において紙の需要が減っている中、技術分野で新商品を開発されたということで、市内の事業者との連携についてニーズを頂いている。中小企業者と大企業が接点を持てる機会があればいいのだが。

(委員) 技術分野の新商品については、会議所でも説明会を開催する予定である。

(事務局) 岩国市に工場があり、ぜひ他の企業さんと連携していきたいという意向を持たれている。今後商工会議所とも協力して、市内の事業者にそういった情報を共有する予定にしているところ。

(会長) 修正特化係数に関する説明だけ、他に比べ少し分かりづらいと感じる。他所では「市外、域外から稼ぐ力を持つ産業」とされているものがあり、そういった表現の方が分かりやすいのではないか。

また、修正特化係数で強い産業とされているパルプ、繊維産業は大手企業が占めると考えていいのか。市の支援策が対象としているものと、強い産業とされているものがかけ離れているように見えるが、この振興条例は大企業も含め、地域経済の振興を図ることを目的としている。強い産業については、大企業が占めているため別段支援策がないという、そのあたりの説明も加えた方がよいのではないか。

(事務局) 頂いたご意見を踏まえ、今後検討させていただく。

#### ・ICTについて

(委員) ICTについての記載があるが、これはDXも含めるということか。

(事務局) DX は最近用いられるようになった言葉なので、ICT、AI などと記載している。

(会長) p.16 の基本方針には国、県との連携を図るとの記載がある。DX に関しては山口県も取り組みをされているので、連携を図っていただきたい。

### 3. 「新型コロナウイルス感染症経済対策」について (資料3)

(事務局より、資料に基づき説明)

#### 質疑応答

・今後の経済対策について

(委員) 現在、「いわくに経営応援助成金」の受付を実施している。非常に簡易な申請方法でスムーズに実施できており、件数も多く上がっている。収束状況は見通せないが、来年度以降も新型コロナウイルスの影響はあると思うので、助成金、補助金も助かるが、やはり景気喚起など、事業者が売り上げを上げていくための支援を検討していただきたい。

(事務局) 国も新たな事業所向けの給付金や景気喚起策を行うと報道等でも出ている。そうした施策と相乗効果が現れるようなものを検討していきたい。

・支援策の情報発信について

(委員) 事業者としては、施策に関する情報をいち早く知りたいという気持ちがある。情報発信について、電子メール型発信事業もそうした点を見据えた上での取り組みかと思うが、SNS を活用することも検討していただけないか。

(事務局) 岩国市においても公式 LINE アカウントを設けており、事業者向けの情報も受信できるようになっている。これまでもメールマガジン及び公式 LINE より、市や国、県の支援策をご紹介しているところである。また、およそ 20 の経済団体へ一斉に FAX による情報提供もしており、今後も様々な形で迅速に情報提供を行ってまいりたい。

・会食等の人数制限について

(委員) これから年末年始になり飲食店を利用する機会が増えると思うが、市として、会食の人数制限についてどういった対応をされているのか。

(事務局) 公式に発信を行ってはいないが、庁内的には、5人以上の会食を行う場合、感染対策をしっかりと行っているのであれば、積極的に市内のお店を利用しているという方針である。